



平成19年度水道技術者専門別研修会（給水装置部門）（2月18日～2月22日）

97名の参加を得て「水道事業の現状と課題」「給水装置概論」「給水装置の構造及び材質の基準」「給水管及び給水用具と省令第14号適合証明方法」「指定給水装置工事事業者制度」「給水装置工事の施工等」「給水装置の設計・水理計算演習」「給水用具の維持管理と広報・公聴の充実」「給水装置の事故事例とその対応」について研修を実施した。

第145回水質試験方法等調査専門委員会（2月19日）

水質検査方法の見直しに関して、有機物部会から LC-MS 法によるハロ酢酸類の一斉分析の分析条件及び感度等について、無機物部会から ICP-MS による銀、バリウム、ビスマス、スズ、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウムの分析条件等について、微生物・生物部会から従属栄養細菌の培養条件等について報告された。

第90回 機械・電気・計装専門委員会（2月20、21日）

水道設備における環境取組に関するアンケート調査の報告及び検討課題である「水道設備における環境保全取組事例集」（仮称）の原案作成について、目次、構成、省エネ・新エネの導入方法等について審議を行った。

第24回水道 GLP 認定委員会（2月26日）

君津広域水道企業団、岡山市水道局及び財団法人鳥根県環境保健公社の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第41回 ISO 審査登録センター・判定委員会（2月28日）

東京都水道局三郷浄水場のサーベイランスについて審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

第42回 ISO 審査登録センター・判定委員会（2月28日）

横浜市水道局浄水部の第1回更新審査について審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

第862回会誌編集委員会（2月28日）

本誌3月号・4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

水道事業における調達方式講習会（札幌市：2月29日、仙台市：2月22日、東京第1回：2月6日、東京第2回：2月7日、名古屋市：3月7日、大阪市：3月7日、広島市：2月28日、福岡市：2月29日）

水道事業の健全な運営に資することを目的とするため、水道事業関係の職員の方を対象に「水道事業における調達方式講習会」を全国7ブロック別に開催した。講習会では「水道事業における調達方式の現状」、「水道事業における総合評価の導入」、「水道事業における業務委託」について研修を実施した。



第3回水道施設の事故事例検討専門委員会（2月29日）

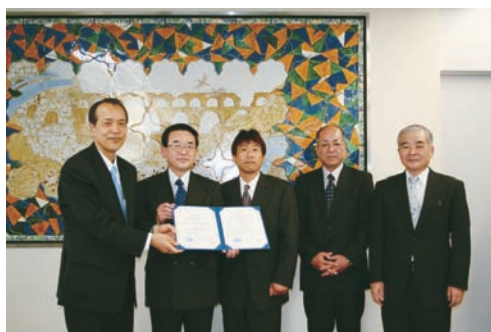
「水道施設の事故事例集（仮称）」に掲載予定の事例について、分類の再確認、内容の整合性、事例の分析方針及び、今後の編集作業日程等について審議した。

ISO 審査登録センターは JAB より認定更新を承認（3月12日）

本センターは、平成20年3月12日付けで(財)日本適合性認定協会（JAB）より認定登録更新が承認されました。認定有効期間は、平成20年3月17日から平成24年3月16日の4年間です。

水道 GLP 認定証授与式（3月13日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した君津広域水道企業団大寺浄水場水質センターの認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



JIS マーク表示制度認証授与式（3月13日）

第18回 JIS 製品認証業務判定委員会において、(株)水島鉄工所に関する初回認証判定について、適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第618回抄録委員会（3月13日）

川崎市水道局生田浄水場の超高速凝集沈澱池などを視察し、その後、同浄水場会議室にて本誌平成20年6月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録について審議した。

